

街歩きヒストリア



山号は「白島山（はくとうざん）」。江戸時代にこのあたりの地名が「箱島」から「白島」になったことに由来します。

妙風寺

東白島町

常葉橋西詰にある日蓮宗の寺院です。浅野氏が紀州から広島に入城した1619年共に移り、藩士たちが住む当地に時の住職が寺を建てました。

境内には、日蓮宗を熱心に信仰した肥後熊本藩主・加藤清正の像を祀るお堂もあります。清正の重臣・加藤正方（まさかた）が縁あって晩年広島に移住し、寺の発展に尽力したつながりがあるからです。毎年7月には「清正公（せいしょうこう）さん」という祭りで、清正公像を拝観できます。今年の祭りは7月19日です。

境内では6月下旬に蓮の花が見頃を迎えます。早朝お参りすれば、蓮の開花を観ることができますよ。（文・写真 柴田 篤さん）



夏の境内を彩る蓮の花。住職が丹精込めて育てておられます。（写真：妙風寺提供）



中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。